

晴耕雨読 54

発行：株式会社 建設プロジェクトセンター
建設コンサルタント・地質調査 解析・測量全般・
・補償コンサルタント登録
〒869-1234 【※本社が北区弓削に移転しました】
熊本県菊池郡大津町引水 215-1 (技術研究所)
本社：熊本市 / 八代支店 / 合志営業所
TEL：096-293-4400/FAX：096-293-4885
E-mail：kenpro@muc.biglobe.ne.jp

「暑中見舞申し上げます」 例年になく遅い梅雨明けから一転、猛暑の日が続いておりますが皆さま体調を崩されませんようご自愛ください。



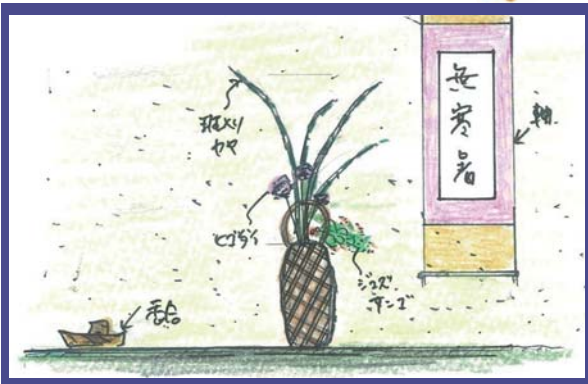
私たちのおすすめスポット

Recommended Spot

Vol.54 Aug 2019 seikouudoku

冷たい物にばかり手が伸びてしまう毎日ですが
皆様におかれましては如何すごされたでしょうか？

● 無寒暑



連日、特に暑い日が続いています。茶道の世界に上スケッチに示す軸に「無寒暑」という言葉があります。寒さ暑さも気持ち次第で無になれば、過ごせるとの先人の心構えですが、クーラーの世界に育った私たちには、その心境に近づけません…と心で思いながら月2回の稽古に向かっています。 H/N



身近な環境への思い

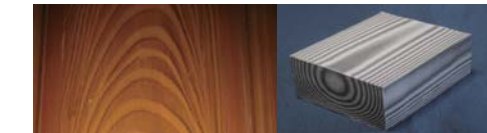
汚れた土の上に咲く美しいハスの花



蓮の花

● 木目の CAD デザイン

佐世保の黒島天主堂の天井や壁に、信者が手描きした木目があると聞いて出かけました。一見すると木目ですが、よく見ると木目が交差していて本物ではないことがわかります。目的は「すこしでも豪華に見せたい」という思いだったのでしょうか。その後、近所を散歩していたら、鳥よけの網戸が重なった部分に、木目模様が見えました。それをヒントに、CAD で木目を作ってみました。写真は手描きの木目と CAD 木目。 M/T



手書き

CAD

● 上棟式は海外でもある？！



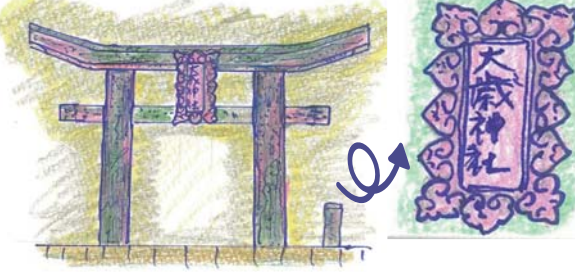
日本



海外

● 宇土半島綱津の大歳神社鳥居

宇土市綱津町馬門にある大歳神社の鳥居。9 万年前の阿蘇山の火砕流で出来「馬門石」が使用された鳥居はピンク色で、扁額装飾のデザインが珍しい鳥居です。こちらの祭神は大歳神とされ、農業神とのことです。併せて石作神と豊玉姫が祭られているそうです。ここを訪れると、海にそそぐ綱津川がありますが、水田部が低いので洪水が心配です。 H/N



京都にある伏見稲荷大社の境内には沢山の狐を見かけます。よく見るとくわえているものがそれぞれ違います。巻物は「知恵の象徴」です H/N

暑

Human Architectur

涼を求めて…

都市緑地は、枯葉の時期には敬遠されがちですが、夏場には重宝される存在です。木陰は、日中に活発な蒸散作用が行われています。(根から吸い上げた水を、葉から水蒸気にして出しています) 東京オリンピックでは、休憩所の要所にミスト(霧)施設が準備されているようです。滝場では、マイナスイオン化した微粒子を浴びると、ストレスなどに有効で、水量が豊かで落差が大きいほど、その効果が高いと言われています。森には、フィトンチッド など、熊本には避暑地がたくさんあります。時には、心と体を休めに行きましょう。A/T



江津湖



大津町引水



夏の草花は色鮮やか



あなたはどの花が好きですか？

見

身近な土木文化への思い

Civil Engineering

▲大型クロソイド定規の有効活用



クロソイド定規

我社の倉庫に 15 年以上眠っているR3000m相当のクロソイド定規(左写真)を中学生の職場体験に使うと皆で考えました。高速道が全国展開した昭和時代は、設計に欠かすことの出来ない貴重な道具でした。現在は測量・設計CADソフトでポイントを指定して角度を入力するだけで曲線の線形を自動計算してくれます。私自身クロソイド定規を使用した経験がありません。今は簡単に線形計算がソフトでできる時代です。ただ、手書きの設計図が高規格道路整備の礎であったことを忘れてはいけないと思います。 N/M

▲南阿蘇村立野の道路復旧が楽しみ！



ら片持架設工法で上部工工事が開始される。両岸に仮設構台を設け、大型インクラインが設置されていた。 N/S

■ 後記：熊本地震から3年。復興への足跡が見え始めました。報道によると国道57号線北側ルートの開通、豊肥線の開通の目途がたったようです。これらの社会インフラは、復興のシンボルであり、命の道でもあります。今後も皆さんへ地域復興を中心に紹介してまいります。この晴耕雨読は社員の協力で発信しています。

▲道路インフラに思う

私達が日常的に使う道路インフラは、防災・物流・観光等を支える重要な機能と役割を担っており、適切な維持管理が必要です。天草の海岸沿いの国道2号目の道路橋定期点検では、海水や飛来塩分の影響を大きく受ける環境なため、コンクリート中の鋼材腐食が進行し鉄筋の断面減少や破断が顕著に見られました。また、塩害環境下で補修された橋梁では、補修箇所周辺に再劣化(マクロセル腐食)が確認され、補修箇所周辺の未対策部に残存する塩化物が腐食を誘発したものと考えられます。再劣化防止には顕在化する損傷だけを補修するのではなく、内在塩分量等を詳細調査後に補修範囲や対策工法を特定することが今後重要と考えます。 T/M

▲安全対策見える化



歩行中の子供達を巻き込む事故を度々ニュースで目にします。従来の白線や点で表示されていたものを『面』で表示する安全対策が全国で進められています。私が住む合志市でもゾーン30区間がありますが、車のハンドルを握る以上「ゾーン30」の目的と内容を理解しておく必要があると感じました。 T/B

check check check

舞